

経済学部

中四国エリア屈指の伝統を誇る 経済学の教育研究拠点。

経済学部は、前身である官立高松高等商業学校の創立以来、実学を重んずる校風のもと、教養豊かな経済人を育成することを教育理念としてきました。21世紀を迎えた今日、情報伝達の高度化・迅速化は急速に進み、経済活動は今や世界的視野に立つことなしには成り立ち得ません。

このような経済社会に積極的に参画し、地域に根ざしながら世界と連携し共生する、進取の気象に富んだ経済人の育成をめざしています。グローバル化や地域創生のニーズに対応するため、平成30年度入学生より3学科制から1学科5コース制へ改組しています。



経済・政策分析コース

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養う教育研究を行っています。人々の幸福の達成に向けた提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけた人材を養成しています。

会計・ファイナンスコース

経済社会を理解するために金融、財政に関わる分野を学び、企業経営に不可欠な簿記会計の基礎的能力を身につける人材を養成するコースです。卒業生の進路としては、官公庁、地方自治体、企業、公益法人などが想定されています。

経営・イノベーションコース

戦略論、組織論、マーケティング論、イノベーション論、企業の社会的責任論など、経営学に関わる幅広い内容を学んでいます。現実の企業をめぐる諸課題に対応し、新たな価値を創造するために必要な知識やフレームワークを学ぶと同時に、論理的思考力やコミュニケーション能力を養うためのグループワークや討論などを行っています。

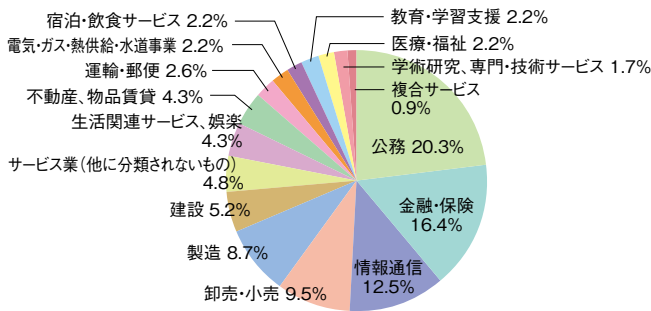
観光・地域振興コース

経済学・経営学をベースに、観光学概論やまちづくり論などにより地域振興・経済活性化に向けた観光資源などの活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、教室での学びと現場での実践を通じて、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

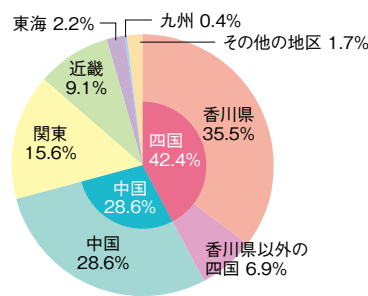
グローバル社会経済コース

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学びます。その上で、世界を舞台に活躍するために必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。進路としては、国内外の企業（国際部門）、公益法人（JICAなど）、NGO、新聞社などのマスメディアがあげられます。

業種別就職状況
(2022.3 卒業)



地域別就職状況
(2022.3 卒業 ※進学者を除く)



出身都道府県別
卒業見込者数(2024.3)

岡山	85
香川	78
愛媛	23
徳島	23
兵庫	22
高知	14
広島	8
鳥取	5
島根	3
福岡	3
山口	2
三重	2
山梨	2
東京	2
その他	10
計	282(人)

主な就職先

中国銀行、香川県庁、高松市役所、岡山県庁、倉敷市役所、百十四銀行、STNet、香川銀行、四国財務局、徳島県庁、伊予銀行、岡山市役所、四国旅客鉄道、NTTドコモ、ドコモCS四国、広島国税局、愛媛県庁、香川労働局、グループ、四国電力、日本生命保険、ザグザグ、四国ガス、日本政策金融公庫、富士通四国インフォテック など

大学院経済学研究科(修士課程)

●経済学専攻

幅広い分野をカバーする多彩な教員スタッフの下、既存の経済学の学問体系に経営学、人文科学等を有機的に組み入れることによって、社会経済システムを諸学融合的な視点から把握しうる高度な専門能力を持った人材を育成しています。具体的には、高度専門職業人として地方自治体や経済界で活躍したり、地域で活躍できる人間、博士課程に進学可能な研究能力を有する人間、及び生涯学習、リカレント教育に対応した幅広い知識を有する人間を育成しています。

※経済学部・大学院経済学研究科について、詳しくは <https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/> をご覧ください。